

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2014-174409
(P2014-174409A)

(43) 公開日 平成26年9月22日 (2014.9.22)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
G 0 9 F 5/04 (2006.01)	G 0 9 F 5/04 D	3 E 0 6 7
A 4 5 D 40/00 (2006.01)	A 4 5 D 40/00 V	
B 6 5 D 73/00 (2006.01)	B 6 5 D 73/00 M	
	G 0 9 F 5/04 H	

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2013-48432 (P2013-48432)	(71) 出願人	593139938
(22) 出願日	平成25年3月11日 (2013.3.11)		金子 惇美
(11) 特許番号	特許第5514928号 (P5514928)		兵庫県西宮市苦楽園5番町3番30号
(45) 特許公報発行日	平成26年6月4日 (2014.6.4)	(74) 代理人	100109210
			弁理士 新居 広守
		(72) 発明者	金子 惇美
			兵庫県西宮市苦楽園五番町3番30号
		(72) 発明者	金子 朋弘
			兵庫県西宮市苦楽園五番町3番30号
		Fターム(参考)	3E067 AB81 AC03 AC12 BA12A BA15A
			BC04A DA03 DA08 EA01 EA22
			EC23 EC29 FA06

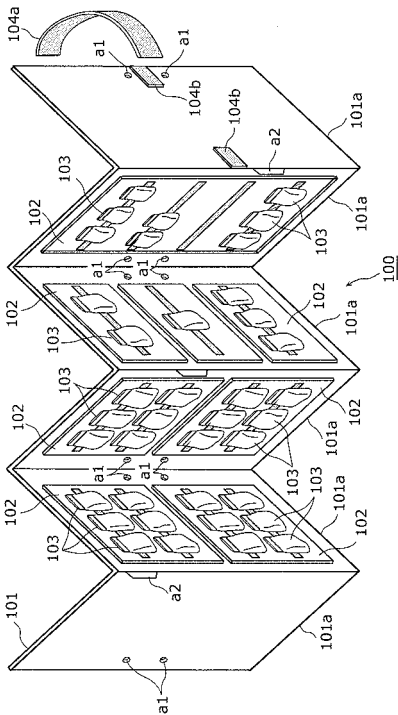
(54) 【発明の名称】 標本収納具

(57) 【要約】

【課題】 見やすく取り扱い易い標本収納具を提供する。

【解決手段】 標本を収納するための標本収納具100は、一列に配列されて互いに連結された複数のシートである複数のベースシート101aを有し、連結部分を折り目にしてジグザグ状に折り畳み可能な基体101と、その複数のベースシート101aのそれぞれに面ファスナーで着脱自在に取り付けられる、標本を封入するための複数の袋103とを備え、複数の袋103のそれぞれには、化粧品、植物、葉または毛糸などの標本が封入される。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

標本を収納するための標本収納具であって、
一列に配列されて互いに連結された複数のシートである複数のベースシートを有し、連結部分を折り目にしてジグザグ状に折り畳み可能な基体と、
前記複数のベースシートのそれぞれに面ファスナーで着脱自在に取り付けられる、標本を封入するための複数の袋と
を備える標本収納具。

【請求項 2】

前記標本収納具は、さらに、
前記複数のベースシートのそれぞれに面ファスナーで着脱自在に取り付けられるシートであるサブシートを備え、
前記複数の袋のそれぞれは、ベースシートに取り付けられた前記サブシートに面ファスナーで着脱自在に取り付けられることによって、当該サブシートを介して前記ベースシートに着脱自在に取り付けられる
請求項 1 に記載の標本収納具。

【請求項 3】

前記複数のベースシートは一枚のシートに一体化されている
請求項 2 に記載の標本収納具。

【請求項 4】

前記複数のベースシートはそれぞれ独立したシートであり、連結部材を介して互いに連結されている
請求項 2 に記載の標本収納具。

【請求項 5】

前記連結部材はカードリングである
請求項 4 に記載の標本収納具。

【請求項 6】

前記基体の折り目にはインデックスタブが付けられている
請求項 1 ～ 5 の何れか 1 項に記載の標本収納具。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、化粧品、植物、薬または毛糸などの標本を収納するための標本収納具に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、化粧品などの標本（サンプル）を収納する標本収納具が提案されている（例えば、特許文献 1 および 2 参照）。

【0003】

上記特許文献 1 の標本収納具（サンプルシート）は、化粧品のサンプルとそのサンプルの商品情報に対応付けて分かり易く表示することができるものである。つまり、このサンプルシートは、複数の開口が穿設された収納部を有するシートを備え、その収納部にサンプルセットが収納される。収納部の開口からは、サンプルセットに保持されているサンプルが露出する。そして、収納部以外のシートには、そのサンプルに関する商品情報が記載されている。また、上記特許文献 2 の標本収納具（サンプルセット）は、上記特許文献 1 のサンプルシートと同様に、化粧品のサンプルとそのサンプルに関する情報に対応付けて表示することができるものである。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2002-177046号公報

【特許文献2】特開2000-296875号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、上記特許文献1および特許文献2の標本収納具では、標本の数が多ければ、それらの標本を全体的に見渡すことが困難であり、且つ、その一部を選択的に取り出して見ることが困難であるという問題がある。つまり、標本の数が多いほど、見難く取り扱いが難しいという問題がある。

【0006】

そこで、本発明は、かかる問題に鑑みてなされたものであって、見やすく取り扱いやすい標本収納具を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明に係る標本収納具は、標本を収納するための標本収納具であって、一列に配列されて互いに連結された複数のシートである複数のベースシートを有し、連結部分を折り目にしてジグザグ状に折り畳み可能な基体と、前記複数のベースシートのそれぞれに面ファスナーで着脱自在に取り付けられる、標本を封入するための複数の袋とを備える。

【0008】

これにより、基体を広げれば、それぞれ袋に入れられた標本を全体的に見渡すことができ、基体を折り畳めばコンパクトに標本収納具を閉じることができる。さらに、袋は面ファスナーでベースシートに取り付けられるため、袋ごとに個別の標本を容易に取り出した

り収納したりすることができる。

【0009】

また、前記標本収納具は、さらに、前記複数のベースシートのそれぞれに面ファスナーで着脱自在に取り付けられるシートであるサブシートを備え、前記複数の袋のそれぞれは、ベースシートに取り付けられた前記サブシートに面ファスナーで着脱自在に取り付けられることによって、当該サブシートを介して前記ベースシートに着脱自在に取り付けられてもよい。

【0010】

これにより、サブシートが面ファスナーでベースシートに取り付けられ、さらに、複数の袋のそれぞれがそのサブシートに面ファスナーで取り付けられるため、サブシートごとに、複数の標本のグループを容易に取り出した

り収納したりすることができる。

【0011】

また、前記複数のベースシートは一枚のシートに一体化されていてもよい。

【0012】

これにより、基体が一枚のシートから構成されているため、標本収納具の全体構成を簡単にすることができる。

【0013】

また、前記複数のベースシートはそれぞれ独立したシートであり、連結部材を介して互いに連結されていてもよい。例えば、前記連結部材はカードリングである。

【0014】

これにより、連結部材によって間隔をあけて、隣り合うベースシートを連結することができるため、収納される標本に厚みがある場合であっても、ベースシートの歪みを抑えてコンパクトに標本収納具を閉じることができる。

【0015】

また、前記基体の折り目にはインデックスタブが付けられていてもよい。

【0016】

これにより、標本の検索を容易にすることができる。

10

20

30

40

50

【発明の効果】

【0017】

本発明の標本収納具は、見やすく取り扱い易いという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【0018】

【図1】図1は、本発明の実施の形態における標本収納具の外観図である。

【図2】図2は、本発明の実施の形態における袋の外観を示す図である。

【図3】図3は、本発明の実施の形態における基体、サブシートおよび袋の取り付け方を示す図である。

【図4】図4は、本発明の実施の形態における標本収納具の閉じ方を示す図である。

10

【図5】図5は、本発明の実施の形態における標本収納具の他の閉じ方を示す図である。

【図6】図6は、本発明の実施の形態における標本収納具の他の閉じ方を示す図である。

【図7】図7は、本発明の実施の形態における変形例に係る基体の外観を示す図である。

【図8】図8は、本発明の実施の形態における変形例に係る他の基体の外観を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0019】

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

【0020】

図1は、本発明の実施の形態における標本収納具の外観図である。

20

【0021】

本実施の形態における標本収納具100は、見やすく取り扱いやすいものであって、ジグザグ状に折り畳み可能な基体101と、その基体101上に着脱自在に取り付けられる複数のサブシート102と、標本を封入するための複数の袋103と、標本収納具100を閉じておくためのテープ104a、104bとを備える。

【0022】

基体101は略長方形のシートからなる。この基体101であるシートには、短手方向に沿う複数の折り目がそれぞれ、長手方向に沿って略等間隔離れて付けられている。このような折り目によって、基体101を広げて平面状にすることができ、縮めて蛇腹状にすることができ、さらに縮めてジグザグ状に折り畳むことができる。ここで、この基体101の2つの折り目で囲まれた略矩形状の部分を、以下、ベースシート101aという。言い換えれば、基体101は、一列に配列されて互いに連結された複数のベースシート101aを有し、本実施の形態では、複数のベースシート101aは一枚のシートに一体化されている。また、基体101において、図1の紙面奥側の折り目を谷側の折り目といい、図1の紙面手前側の折り目を山側の折り目という。

30

【0023】

各ベースシート101aの谷側（紙面奥側）の折り目または縁周辺には、標本収納具100をファイリングするための2つのファイリング孔a1が形成されている。さらに、ベースシート101aの山側（紙面手前側）の各折り目には、インデックスタブa2が取着されている。

40

【0024】

サブシート102は、略矩形状のシートであり、基体101の各ベースシート101aに着脱自在に取り付けられる。

【0025】

袋103は、標本を封入するための袋であって、例えば透明のポリエチレン製である。また、この袋103には、密閉するためのチャックが設けられている。この袋103は、サブシート102に着脱自在に取り付けられる。

【0026】

テープ104aは、面ファスナーであって、基体101が折り畳まれた状態で、その基体101に巻き付けられる。そして、テープ104aの両端のそれぞれは、基体101の

50

一端（図1右端）にあるベースシート101aに貼着された面ファスナーである2つのテープ104bのそれぞれに重ねられる。なお、テープ104aおよびテープ104bの何れか一方は面ファスナーのフック側であり、他方は面ファスナーのループ側である。このようなテープ104aが取り付けられることによって、標本収納具100は閉じた状態に保たれる。

【0027】

図2は、袋103の外観を示す図である。

【0028】

袋103は、図2に示すように、略矩形状に構成されている。また、袋103の開口周辺には、上述のチャック103aが形成されている。さらに、袋103の背面には、図2の（a）に示すように、面ファスナーであるテープ106aが貼着されている。このような袋103には、上記開口から標本（例えば、植物の実など）が挿入され、チャック103aによってその袋103内が密封される。なお、袋103は、透明であっても、遮光性を有するものであってもよい。袋103が遮光性を有する場合には、その袋103に封入される標本を外部の光から保護することができる。

【0029】

図3は、基体101、サブシート102および袋103の取り付け方を示す図である。

【0030】

基体101のベースシート101aには、面ファスナーである2つのテープ105aが貼着されている。また、サブシート102の裏面にも、面ファスナーである2つのテープ105bが貼着されている。なお、テープ105aおよびテープ105bの何れか一方は面ファスナーのフック側であり、他方は面ファスナーのループ側である。

【0031】

サブシート102は、その裏面（テープ105bが貼着された面）を、ベースシート101aのテープ105aが貼着された面に向けた状態で、そのベースシート101aに取り付けられる。つまり、テープ105aとテープ105bが重ね合わされることによって、サブシート102がベースシート101aに取り付けられる。このように、本実施の形態におけるサブシート102は、複数のベースシート101aのそれぞれに面ファスナーで着脱自在に取り付けられるシートである。

【0032】

また、サブシート102の表面には、面ファスナーである複数のテープ106bが貼着されている。なお、テープ106aおよびテープ106bの何れか一方は面ファスナーのフック側であり、他方は面ファスナーのループ側である。

【0033】

袋103は、その裏面をサブシート102の表面に向けた状態で、そのサブシート102に取り付けられる。つまり、テープ106aとテープ106bが重ね合わされることによって、その袋103がサブシート102に取り付けられる。このように、本実施の形態における複数の袋103のそれぞれは、ベースシート101aに取り付けられたサブシート102に面ファスナーで着脱自在に取り付けられることによって、そのサブシート102を介してベースシート101aに着脱自在に取り付けられる。

【0034】

図4は、標本収納具100の閉じ方を示す図である。

【0035】

基体101は、図4の（a）に示すように、ジグザグ状に折り畳まれる。次に、テープ104aが、折り畳まれた基体101に巻き付けられる。そして、図4の（b）に示すように、テープ104aの両端がそれぞれ、基体101の2つのテープ104bのそれぞれに重ね合わされる。これにより、基体101が折り畳まれた状態で固定される。つまり、標本収納具100は、テープ104aおよび104bによって閉じた状態に保たれる。なお、図4の（a）および（b）では、基体101の状態を簡略的に示すために、サブシート102を省略している。

【0036】

図5は、標本収納具100の他の閉じ方を示す図である。

【0037】

標本収納具100は、テープ104aおよび104bの代わりに、ファイル200によって閉じられてもよい。ファイル200はファイル本体202と2つのパイプ201を備える。ファイル本体202は背表紙と、背表紙の両端に開閉自在に延設された表表紙および裏表紙とを備える。2つのパイプ201は、表表紙と裏表紙をつなぐように背表紙付近に取り付けられている。

【0038】

このようなファイル200に標本収納具100を閉じるときには、まず、ファイル200が開かれ、2つのパイプ201の先端に係止されている金具が外される。そして、折り畳まれた標本収納具100の基体101の2つのファイリング孔a1のそれぞれに、パイプ201が挿通される。そして、2つのファイリング孔a1のそれぞれにパイプ201が挿入された状態で、2つのパイプ201の先端に上述の金具が取り付けられる。これによって、標本収納具100はファイル200に閉じられた状態になり、標本収納具100を本のように閲覧することができる。

10

【0039】

図6は、標本収納具100のさらに他の閉じ方を示す図である。

【0040】

標本収納具100は、ファイルケース300に挿入されることによって閉じられる。この場合には、標本収納具100を、テープ104aおよび104bで閉じた状態で、ファイルケース300に挿入してもよく、テープ104aおよび104bで閉じずに、ファイルケース300に挿入してもよい。

20

【0041】

このように本実施の形態の標本収納具100は、基体101を広げれば、それぞれ袋103に入れられた標本を全体的に見渡すことができ、基体101を折り畳めばコンパクトに標本収納具100を閉じることができる。さらに、袋103は面ファスナーでサブシート102に取り付けられるため、袋103ごとに個別の標本を容易に取り出したり収納したりすることができる。さらに、サブシート102も面ファスナーでベースシート101aに取り付けられるため、サブシート102ごとに、複数の標本のグループを容易に取り出したり収納したりすることができる。

30

【0042】

また、基体101が一枚のシートから構成されているため、標本収納具100の全体構成を簡単にすることができる。また、インデックスタブa2が取り付けられているため、標本の検索を容易にすることができる。

【0043】

(変形例)

上記実施の形態の標本収納具100はサブシート102を備えるが、そのサブシート102を備えずに、袋103をベースシート101aに面ファスナーで直接取り付けてもよい。つまり、本変形例の標本収納具は、一列に配列されて互いに連結された複数のシートである複数のベースシート101aを有し、連結部分を折り目にしてジグザグ状に折り畳み可能な基体101と、その複数のベースシート101aのそれぞれに面ファスナーで着脱自在に取り付けられる、標本を封入するための複数の袋103とを備える。このような本変形例の標本収納具であっても、基体101を広げれば、それぞれ袋103に入れられた標本を全体的に見渡すことができ、基体101を折り畳めばコンパクトに標本収納具を閉じることができる。なお、サブシート102が取り付けられていないため、よりコンパクトに標本収納具を閉じることができる。さらに、袋103は面ファスナーでベースシート101aに取り付けられるため、袋103ごとに個別の標本を容易に取り出したり収納したりすることができる。また、複数の袋103のうちの何れかの袋103をベースシート101aに直接取り付け、他の袋103を、サブシート102を介してベースシート1

40

50

01aに間接的に取り付けてもよい。

【0044】

上記実施の形態の標本収納具100の基体101では、互いに隣り合うベースシート101aはそれらの間に何も挟まずに連結されている。したがって、収納される標本に厚みがある場合に、標本収納具100が閉じられると、ベースシート101aが歪み、その反発によって、標本収納具100をコンパクトに閉じることができない可能性がある。

【0045】

そこで本変形例に係る基体は、互いに隣り合うベースシート101aの間に、上記歪みを緩和するための連結部材を有する。

【0046】

図7は、本変形例に係る基体の外観を示す図である。

【0047】

本変形例に係る基体121は、一枚の略長方形のシートからなり、複数のベースシート101aと、複数のマチ101bとを有する。マチ101bは、2枚の隣り合うベースシート101aの谷川の折り目に相当する位置に配置される連結部材である。

【0048】

このマチ101bによって、比較的厚みのある標本が収納される場合であっても、ベースシート101aの歪みを抑えることができる。つまり、その歪みによるベースシート101aの反発を抑えて基体121を折り畳み、標本収納具100をコンパクトに閉じることができる。

【0049】

図8は、本変形例に係る他の基体の外観を示す図である。

【0050】

本変形例に係る基体122は、それぞれ独立したシートである複数のベースシート101aと、それらのベースシート101aを連結するための連結部材であるカードリング151とを備える。なお、カードリング151の形状は、どのような形状であってもよく、略円環状、楕円状、または略長方形であってもよい。

【0051】

このようなカードリング151によって隣り合うベースシート101aが連結されることによって、比較的厚みのある標本が収納される場合であっても、ベースシート101aの歪みを抑えることができる。つまり、その歪みによるベースシート101aの反発を抑えて基体122を折り畳み、標本収納具100をコンパクトに閉じることができる。さらに、比較的薄い標本が収納される場合であっても、ベースシート101a間の長さを調整することができるため、コンパクトに基体122を折り畳むことができる。

【0052】

なお、本発明について上記実施の形態およびその変形例を用いて説明したが、本発明はこれらに限定されるものではない。本発明の趣旨を逸脱しない限り、当業者が思いつく各種変形を本実施の形態に施したものや、実施の形態および変形例における構成要素を組み合わせる構築される形態も、本発明の範囲内に含まれてもよい。

【0053】

例えば、上記実施の形態では基体101は略長方形のシートであるが、折り畳み可能な構成であればどのような形状であってもよく、ボードであってもよい。また、基体101（ベースシート101a）およびサブシート102の材質は、紙（厚紙）であっても、合成樹脂などであってもよい。また、サブシート102の形状およびサイズは、そのサブシート102がベースシート101aからはみ出さなければ、どのようなものであってもよい。また、サブシート102がインデックスタブを備えていてもよい。この場合には、サブシート102は、そのサブシート102のインデックスタブだけがベースシート101aからはみ出すようにベースシート101aに取り付けられる。

【0054】

さらに、本実施の形態およびその変形例では、面ファスナーであるテープ104a、1

10

20

30

40

50

04b, 105a, 105b, 106a, 106bを用いたが、そのテープは細長い形状に限らず、どのような形状であってもよい。

【0055】

また、本実施の形態およびその変形例では、袋103およびサブシート102は、ベースシート101aの表面に対してのみ取り付けられたが、ベースシート101aの裏面に対しても取り付けられてもよい。例えば、図1に示すベースシート101aにおける、図1の紙面手前側の面（上記表面）と紙面裏側の面（上記裏面）との両面に、袋103が取り付けられる。または、その裏面に対してのみ、袋103が取り付けられてもよい。また、袋103は、サブシート102を介して取り付けられても、サブシート102を介さずに取り付けられてもよい。

10

【産業上の利用可能性】

【0056】

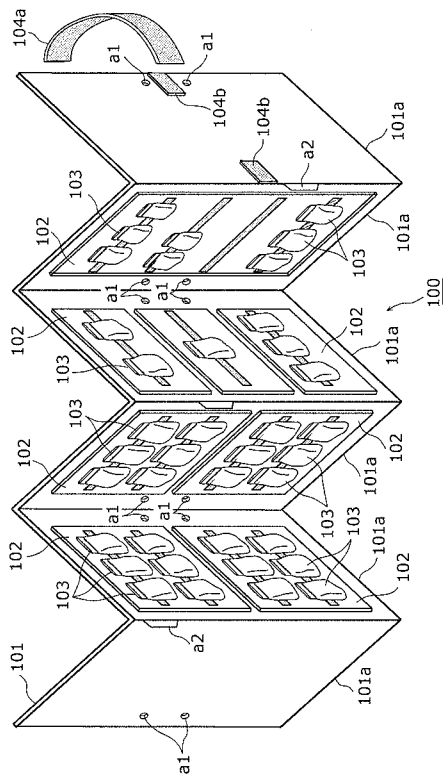
本発明にかかる標本収納具は、見やすく取り扱いやすいという効果を奏し、化粧品、植物、薬または毛糸などの標本を収納するための用具として有用である。

【符号の説明】

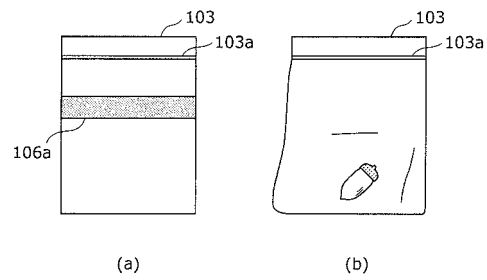
【0057】

100	標本収納具	
101	基体	
101a	ベースシート	
101b	マチ	20
102	サブシート	
103	袋	
104a, 104b, 105a, 105b, 106a, 106b	テープ（面ファスナー）	
151	カードリング	
200	ファイル	
201	パイプ	
202	ファイル本体	
300	ファイルケース	
a1	ファイリング孔	30
a2	インデックスタブ	

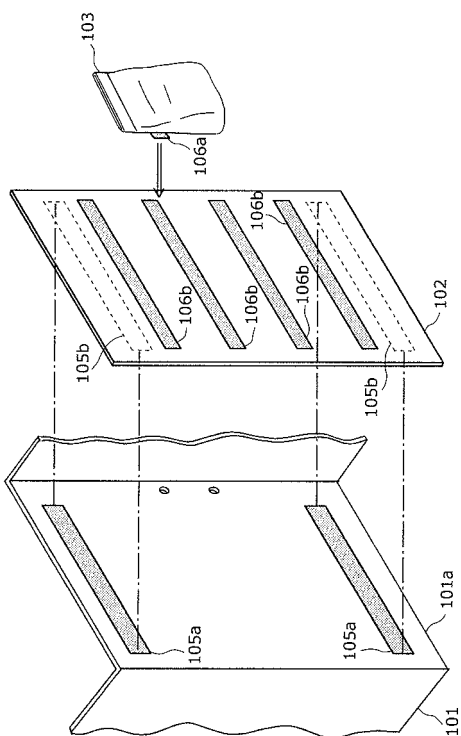
【図 1】



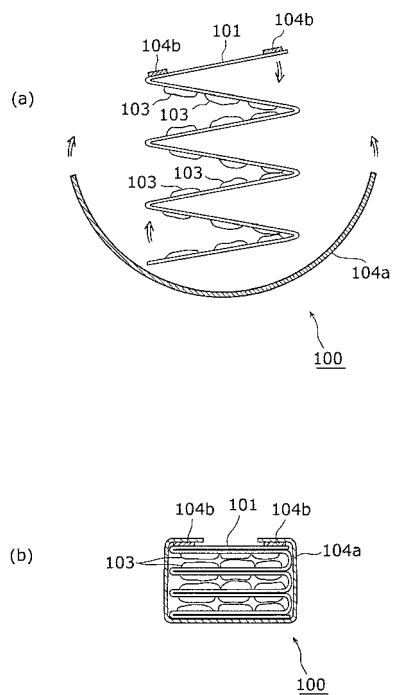
【図 2】



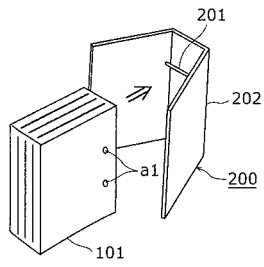
【図 3】



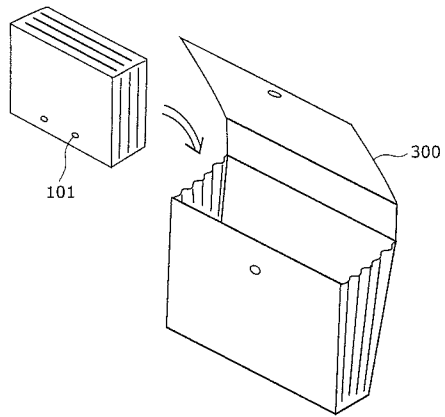
【図 4】



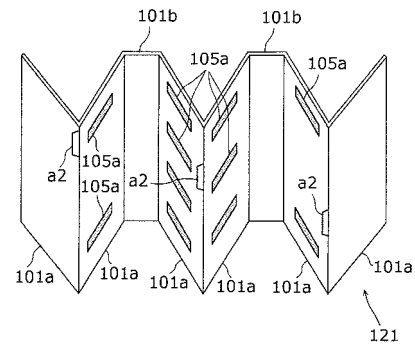
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

